

★北海道東トレイル「Hokkaido East Trail(HET)」(環境省)  
知床(羅臼)から釧路まで、知床、阿寒摩周、釧路湿原の3つの国立公園とまちを結ぶ、総距離約410kmの長く一本に繋がった歩く旅の道。地域への様々なメリットが期待されています。



★アドベンチャートラベル(AT)(釧路総合振興局)  
首都圏・海外向けの情報発信を強化し、ATの魅力を発信しています。食文化体験のイベントを開催したほか、関連団体とネットワークを構築してガイド育成講座を開催し、ガイドの質の向上を目指しています。



「ツーリズムEXPOジャパン2024」への出展  
食文化体験イベントの開催

★鶴居村釧路湿原観光コンテンツ創出事業  
環境省、鶴居村釧路湿原観光コンテンツ創出協議会(事務局:鶴居村)が関係機関と連携し、宮島岬エリアの利用ルールとガイドネットワークの構築を検討しています。



宮島岬から釧路湿原を望む

★釧路湿原右岸堤防ホーストレッキング試歩会(釧路開発建設部)  
釧路川における「かわたび×うまたび」・「かわまち」利活用検討に向けた釧路湿原右岸堤防のホーストレッキング試歩会を実施して、今後の利活用の可能性を検討しました。



ホーストレッキング試歩会

みんなの湿原小委員会の詳しい議事の内容および  
会議資料はホームページでご覧いただけます。



## 第1回 みんなの湿原小委員会 出席者名簿 (敬称略、五十音順)

### 個人 20名

- 赤坂 泰志
- 川嶋 啓太
- 櫻井 一隆
- 新庄 久志[釧路国際ウェットランドセンター 技術委員会]
- 杉澤 拓男
- 高崎 優子[北海道教育大学 教育学部 釧路校]
- 照井 滋晴[特定非営利活動法人 環境把握推進ネットワーク-PEG]
- 中村 研二[釧路公立大学 地域経済研究センター]
- 橋本 俊彦
- 平岩 誠[カヌーショップヒライワ]
- 松本文雄
- 山本 太郎[一般財団法人 北海道河川財団]
- 亀山 哲[国立環境研究所 生物多様性領域 生態系機能評価研究室]
- 君塚 孝一[(有)自然文化創舎]
- 工藤 知美[特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所]
- 坂井 一浩[八千代エンジニアリング株式会社 北海道営業所]
- 新庄 興
- 関 基[八千代エンジニアリング株式会社 北海道営業所]
- 長谷川 理[特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所]
- 吉中 厚裕[酪農学園大学 環境共生学類]

### オブザーバー 3機関

- 釧路商工会議所 [地域振興部 次長/情野 裕良]
- 弟子屈町商工会 [事務局長/豊島 洋樹]
- 釧路町商工会 [事務局長/藤川 幸司]

### 団体 11団体

- 一般社団法人 釧路観光コンベンション協会[専務理事/石山 巖]
- 釧路川カヌーネットワーク協会[会長/小川 清史]
- 釧路観光連盟[専務理事/長沼 大平]
- 釧路国際ウェットランドセンター[事務局次長/元岡 直子]
- 釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会[代表幹事/芳賀 孝朋]
- 釧路湿原国立公園連絡協議会[事務局次長/元岡 直子]
- 公益財団法人 北海道環境財団[企画事業課長/山本 泰志]
- こどもエコクラブくしろ[サポーター/近藤 一燈美]
- 特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ[理事長/百瀬 邦和]
- 一般社団法人 釧路青年会議所[専務理事/白崎 喬大]
- 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所  
寒地水圏研究グループ 水環境保全チーム[上席研究員/柿沼 孝治]

### 関係行政機関 7機関

- 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部  
[釧路河川事務所 所長/西藤 浩二]
- 環境省 釧路自然環境事務所[所長/岡野 隆宏]
- 北海道 釧路総合振興局  
[保健環境部 環境生活課 自然環境係 係長/川島 新]  
[商工労働観光課 観光振興係 係長/沖野 洋]
- 釧路市[市民環境部 環境保全課 自然保護係 総括係長/元岡 直子]
- 林野庁 北海道森林管理局  
[釧路湿原森林ふれあい推進センター 所長/川淵 義昭]
- 釧路町[商工観光課 観光係 主事補/森末 恵悟]
- 標茶町[企画財政課 企画調整係 係長/河村 晃]

### 資料の公開方法

各委員会で使用した資料および議事要旨は、釧路湿原自然再生協議会ホームページで公開しています。  
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/qgmend0000003ppq.html>

### ご意見募集

釧路湿原自然再生協議会運営事務局では皆様のご意見を募集しています。  
電話・FAXにて事務局までご連絡ください。

## 釧路湿原自然再生協議会運営事務局

TEL0154-23-1353 FAX0154-24-6839

※みんなの湿原小委員会担当事務局:環境省釧路自然環境事務所

TEL0154-32-7500 FAX 0154-32-7575

## 釧路湿原 自然再生 協議会



# みんなの湿原小委員会 ニュースレター

編集・発行:釧路湿原自然再生協議会 運営事務局

Vol. 1

発行日:令和7年3月4日

令和7年2月7日(金)「第1回みんなの湿原小委員会」が開催されました。

### 開催概要

小委員会には個人20名、団体11団体、オブザーバー3機関、関係行政機関7機関が出席しました。会場とオンライン(Zoom)とを併用して開催され、再生普及小委員会及び地域づくり小委員会での取組みについて報告があり、再編成に関する議論が行われました。

### 小委員会の再編について

「再生普及小委員会」は平成15年から、「地域づくり小委員会」は平成27年から開催され、自然再生に関わる様々な取組みを実施してきました。  
両小委員会は、情報発信や普及活動、湿原のツアーや利活用の考え方など、共通テーマが多いことから、この度、「みんなの湿原小委員会」として一つの小委員会に再編されました。



第1回みんなの湿原小委員会 開催状況

### 新たな委員会の目的と名称について

新たな小委員会の委員長及び委員長代理が選出され、これまでの各小委員会の役割を受け継ぎつつ、新たな小委員会の目的や役割、名称について議論が行われました。

■新たな小委員会の委員長・委員長代理が決まりました。

- 中村 研二 委員長
- 高崎 優子 委員長代理

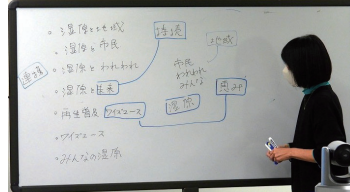
#### ★新たな小委員会の目的や役割について

2つの小委員会のこれまでの取組みに、とらわれ過ぎない方がよいのではないかな。

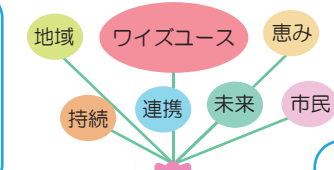
太陽光パネル建設が進んでいる問題などは、どこの小委員会が扱うのか。

この小委員では、湿原生態系と持続的に関わる社会づくりを目標としているので、原点にたち返って考えてはどうか。

この小委員会で出た不安や危機感などの問題点を、他の小委員会と共有して、協議会へ上げてはどうか。



ホワイトボードに意見を書き出す  
高崎委員長代理



★新たな小委員会の  
名称案で出たキーワード

#### ★新たな小委員会の名称について

湿原と地域小委員会

湿原生態系と持続的に関わる社会づくりが表現されると良い。

「いきもの」を含む「みんな」を入れてはどうか。

湿原と我々の未来小委員会

何をしているのかが分かる名称が良い。

「ツーリズム」を入れると市民講座や学校教育などの印象が薄れる。

子どもから高齢者までが分かるような名称が良い。

再生普及ワイズユース小委員会

### 旧再生普及小委員会からの報告

#### ●今年度の活動報告

#### ●ワーキンググループ等の取り組み

以下のワーキンググループ等の会合を開催しました。

#### ◆第19回 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ

日 時: 令和6年8月20日(火) 14:00~16:00 参加者:14名  
議 事: これからの湿原学習支援の方向性について

#### ◆第19回 再生普及推進のための連携チーム

日 時: 令和6年11月21日(木) 10:00~11:30 参加者:12名  
議 事: ①小委員会事務局が実施する市民参加の取組みの実施状況について  
②再生普及行動計画の評価について

#### ◆第20回 再生普及推進のための連携チーム

日 時: 令和7年1月28日(火) 10:00~11:30 参加者:13名  
議 事: ①再生普及小委員会のこれまでの取組み、成果と課題  
②第4期再生普及行動計画評価案について(共有)

#### ◆第20回 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ

日 時: 令和7年2月26日(水) 15:30~17:00 参加者:11名  
議 事: これからの湿原学習の普及に向けて

#### ●再生普及行動計画の進行管理、活動支援

以下の活動を支援しました。

#### ◆ワンダグリンドプロジェクトの推進

昨年度の参加団体を対象にヒアリング等を実施し、活動状況や今後の参加意向を把握、ホームページに情報を掲載。  
参加団体:56団体・個人  
連携校:6校  
広報支援:8施設

#### ◆プロジェクト参加団体と連携した取り組み

イベント出展、施設展示のほか、小学校が行う湿原学習の企画や、学習支援等を参加団体と連携して実施。

《取組内容》

辻野正さん:湿原クラフト体験教室・展示、ジオラマ展示  
タクッパさん:展示「アイヌ民族と植物」  
長谷泰昌さん:フィールド学習の企画実施  
釧路市動物園「タンチョウレスキューの現場から」:パネル展示、フィールド学習支援  
シルバーシティときわ台ヒルズ:講演会、パネル展示

●再生普及行動計画の進行管理、活動支援 以下の活動支援等を実施しました。

◆フィールドワークショップの実施

- 湿原に“おじゃま”して、湿原のしくみを知る！  
実施日：令和6年11月17日（木）  
参加者：14名（ワンダグリンド・プロジェクト2024参加者・再生普及小委員会委員）  
場 所：温根内右岸堤防北側湿原  
案内人：新庄 久志 氏（釧路国際ウェットランドセンター技術委員長）

◆現地見学会の企画、広報支援

- ・各小委員会事務局が主催する現地見学会の広報支援の一環として各行事の報告内容をウェブサイトに掲載
- ・行事チラシ等を施設に配架
- ・今後の企画検討資料として、行事内容および共通アンケート項目をとりまとめ、各事務局と共有



参加できる  
色々な行事  
が掲載され  
るよ！！

●情報発信、普及活動 以下の情報発信や普及活動を実施しました。

◆ウェブサイトへの情報掲載

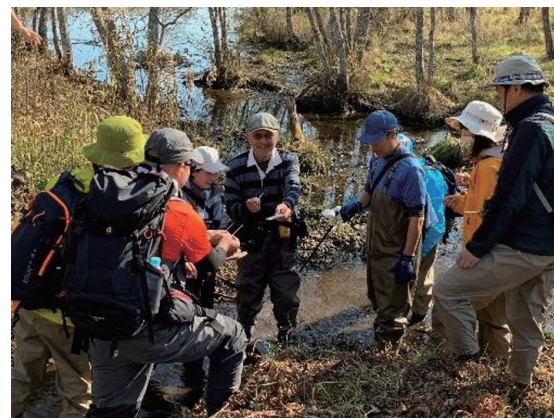
◆イベントカレンダーへの情報掲載

◆メールニュースの配信・ウェブサイトの掲載

◆イベント等での情報発信、普及

◆市民講座の実施

- 湿原と地域を学び、湿原を体験して、湿原の仕組みを知る！  
釧路湿原の『すごい!』を体験しよう  
日 時：10月26日（土）9:45～12:30 参加者：9名  
場 所：釧路湿原右岸堤防南側湿原（鶴居村温根内）  
および温根内ビジターセンター  
講 師：新庄 久志 氏（釧路国際ウェットランドセンター技術委員長）

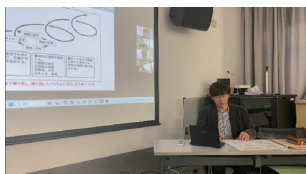


市民講座の様子 令和6年10月26日

●湿原学習支援 以下を実施しました。

◆教員研修講座の実施

- 環境教育の充実  
～釧路湿原を題材とし、研究発表ボードを活用した『ジュニア研究』から～  
実施日：11月13日（水）  
参加者：7名  
場 所：釧路市こども遊学館 1階 視聴覚室  
講 師：境 智洋 氏（北海道教育大学釧路校 教授）  
話題提供：古野 峻也 氏（釧路市こども遊学館）  
主 催：湿原学習のための学校支援ワーキンググループ、  
釧路市こども遊学館



◆フィールド学習のコーディネート

湿原を活用した授業づくりの支援を行いました。  
《実施校》釧路町立富原小学校ほか、合計6校

◆探究学習支援  
（協力施設、団体、学校と連携した湿原学習の推進）

- ・湿原学習の支援体制づくりのためのオンライン情報交換会の実施
- ・フィールド学習当日の対応を11主体が共同で実施



●第4期再生普及行動計画の評価案について

第4期再生普及行動計画の評価案について事務局より説明があり、評価についての質疑、応答がありました。

第4期 釧路湿原 自然再生普及行動計画 2020年9月 釧路湿原自然再生協議会	項目・指針	評価結果※		
		A	B	C
	3-1 ①湿原を身近に感じる ～人々が湿原とつながる～	○	—	—
	3-1 ②湿原と地域に学ぶ ～学校や地域での学びの幅を広げる	○	—	—
	3-1 ③湿原のために行動する ～保全や再生に関わる人・機会を増やす	—	○	—
	3-2 (1) 一次産業とのつながりをひろげる	—	○	—
	3-2 (2) 観光分野との連携をすすめる	○	—	—
	3-2 (3) 湿原のワイズ・ユースに向けたルールの普及	—	○	—

※ A) 十分な取組みの成果が得られた、B) 課題があるものの一定の成果が得られた、C) 取組みの充実が望まれる

○第4期再生普及行動計画の評価を参考に見直しを実施して、次期再生普及行動計画に反映させるということか。

■そうである。

○「3-2(1)一次産業とのつながりをひろげる」のB評価について、今後の課題を説明願う。

■特に漁業との連携について、関係者の協議会への参加や、協働事業が進むということまで至っていないためB評価とした。

●委員長 ○委員 ■事務局

旧地域づくり小委員会からの報告

●今年度の活動報告

小委員会での以下の取組み内容の報告が行われました。

●農業事業者との連携

農業事業者との連携のため、ヒアリングを実施しました。

○農業事業者と連携することで目指すこと

[自然再生協議会]: 釧路湿原周辺の農業事業者からの負荷排出量低減の協力は湿原の環境保全に直接つながる。  
[農業事業者]: 取り組み内容が世間に知られることで農業事業者や生産物への信用等の高まりに寄与する。

○ヒアリング概要

実施日：令和7年1月24日  
参加者：植田牧場（植田紘史代表）、釧路開発建設部ほか  
《お聞きしたこと》

- ・釧路湿原への認識、関わりについて：研修生や学生が来た時などや、家族や友達と湿原を見に行ったりカヌーに乗っている。
- ・大規模な酪農経営について（最先端の技術など）：ロボット搾乳の牛舎を建てて規模を拡大した。また、TMRセンターを立ち上げた。
- ・実施されている取り組みについて（環境保全、環境教育など）：糞尿を畑に戻す循環型農業を行っているほか、タンチョウ給餌トウモロコシ用に畑を貸している。
- ・地域の人々との関りについて：今以上に地域に貢献していきたいと思っている。



ヒアリングの様子

●自然再生事業箇所の利活用推進

自然再生事業箇所の整備とともに利活用を推進するため、令和4年度より自治体との現地視察・意見交換を実施してきました。今年度は以下の取り組みを実施しました。

●鶴居村：幌呂地区湿原再生事業箇所での取り組み

○現地視察

実施日：令和6年10月17日  
参加者：鶴居村、釧路開発建設部ほか  
《今年度の視察のポイント》  
・周辺の住民らが散歩などでぶらっと来たときにどのように使えるかを現地を見ながら意見交換  
・奥に行くと幌呂川との合流点で湿原中心部の開けた風景が見られることをドローンで共有



現地視察の様子

●標茶町：ヌマオロ地区旧川復元事業箇所での取り組み

○現地視察

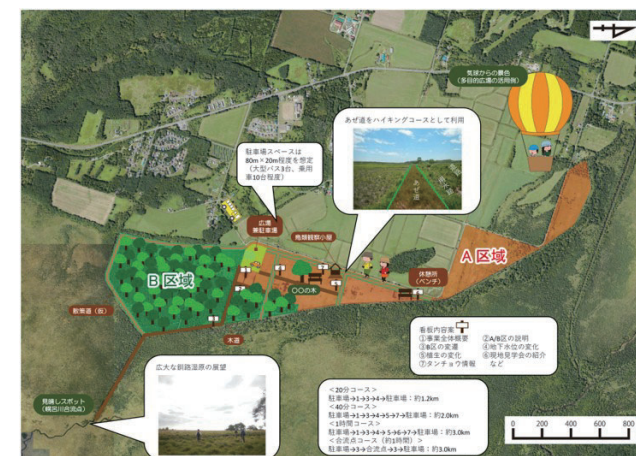
実施日：令和6年10月17日  
参加者：鶴居村、釧路開発建設部ほか  
《今年度の視察のポイント》  
・設置検討中の見晴らし盛土（河川の接続点）の高さを設定するため、ドローンで空中からの景色を確認して、適切な高さを検討  
・教育などの利活用の可能性について情報交換



現地視察の様子

●幌呂地区レイアウトマップ（案）作成

鶴居村との現地視察、意見交換をもとに、散策、見晴らし等をキーワードにレイアウトマップ（案）を作成



●全体マップ（くしろMAP）（案）作成

自然再生事業箇所が増え、一般の方に足を運んでもらい自然再生の取り組みや成果を詳しく知ってもらえるよう、全体マップ（案）を作成



表面

裏面